

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和6年9月3日(火)
担当課	教育事業部歴史文化財課
電話	0791-75-5450

報道機関各位

埋蔵文化財センターロビー展
「収蔵庫の隠れたおたから」第2期を実施

たつの市が所蔵している埋蔵文化財のなかには、優品でありながら特別展・企画展に組み込むことが難しいものなどが存在します。これらを有効に活用するため、埋蔵文化財センターロビーにて簡易な展示を行うものです。展示は2期に分けて行い、第1期は6月に開催済みです。

第2期にあたる今回は、昨年度に保存処理を行った揖保川町黍田F号墳出土鉄斧を展示します。本鉄斧は肩が突出するという特徴的な形状を有し、さらに、この種の鉄斧としては、国内第4位、本州では最大の大きさを誇る貴重な資料です。

記

- 1 展示名称 「収蔵庫の隠れたおたから」第2期
—揖保川町黍田F号墳出土鉄斧—
- 2 開催場所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開催期間 令和6年9月4日(水)～9月29日(日)
- 4 展示内容 揖保川町黍田F号墳出土鉄斧 1点
- 5 観覧料 無料

第2期 揖保川町黍田F号墳出土鉄斧

1 展示資料の概要

長さ約 15 cm、幅約 9 cm、大きく弧を描いた刃と肩の大きな突起が目を引く鉄斧である。たつの市揖保川町黍田と原の両地区、現在の神部小学校の北側に位置する黍田古墳群内の古墳の一つ、黍田 F 号墳より平成 8（1996）年の発掘調査により出土した。古墳自体は発掘調査後、道路工事で消滅した。

時期は古墳時代中期後半（約 1,550 年前）である。

2 来歴

1990 年代に道路工事に伴い断続的に行われた黍田古墳群発掘調査により、平成 8（1996）年に黍田 F 号墳から出土した。遺跡から出土した鉄製品はもろく、そのままでは展示等が難しいことから、長らく特別収蔵庫に保管していたが、令和 5 年度に錆止め、補強の保存処理を行い、展示が可能となった。

3 資料の評価

肩が突出した、いわゆる「碓^{いかりがた}肩」の有肩鉄斧としては、現在歴史文化財課で把握している資料のなかで国内第 4 位、本州に限れば最大の全長を誇る。輸入に頼っていた鉄の地金をふんだんに使用するだけでなく、刃と柄に差し込む部分とを別に作り、両者を接合（鍛接）するという、当時最先端の鍛冶技術を駆使して製作されている。

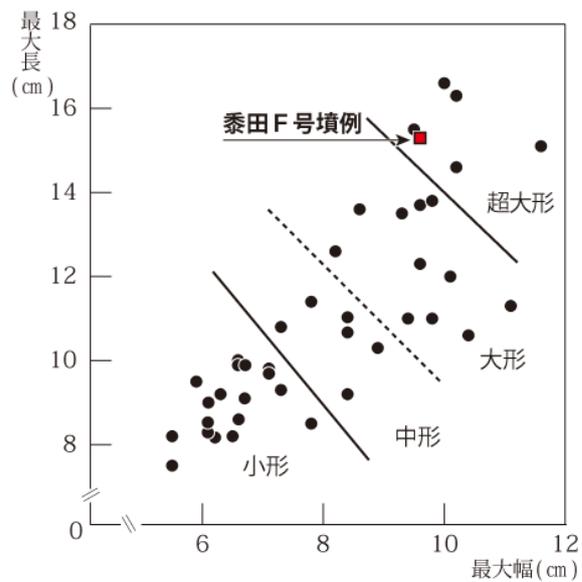
黍田古墳群の築造者を考えるうえで、非常に重要な資料である。

4 本資料選定の理由

昨年度から今年度に向け、保存処理と並行して歴史文化財課が実施した調査により、肩が突出した、いわゆる「碓^{いかりがた}肩」の有肩鉄斧としては国内でも最大級、本州では最大の大きさを誇ることが判明した。保存処理後のお披露目と調査成果の速報を兼ねて展示する。



揖保川町黍田F号墳出土鉄斧
(円内が「肩」)



全国出土の「碓肩」の有肩鉄斧の長幅比と
黍田F号墳例

黍田F号墳の位置

